

平成23年度

自動車用品小売業協会決算報告

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

平成23年度事業報告について

【平成23年度APARA活動テーマ】

(期間：平成23年4月～平成24年3月)

テーマ「競争と協調」

業界を取り巻く環境は年々大きく変化している、APARAの存在意義は結成時に掲げた業界団体としての「小異を捨てて大同につく努力」を重ねることにより、業界の質的向上をはかり、併せて環境問題、行政への提言、規制に対する共通の対応の為に活動を行っていく。

また、消費者ニーズを最優先に協会が組織としての役割を担う。

1、 組織として具体的要件

- (1) 正会員と正会員をサポート頂く賛助会員社の入会を促進する
- (2) 適時的確な情報提供を行う。
- (3) 各地で会員社との交流を深め、組織の結束力を高める。

2、 勉強会の実施

①法令関係、②労務関係、③整備関係、④商品関係の4つを軸に協会企画の勉強会をおこなう。

3、 環境への取り組み

環境問題が取立たされている社会情勢を踏まえて、企業の在り方や企業責任について取り組み情報など共有をいたします。



第14回APARA総会の参加者

正会員	44名
賛助会員	152名
関係団体	23名
マスコミ	27名

APARA総会

【平成23年度APARA活動報告】

総括

昨年3月に発生した「東日本大震災」により、従来のAPARA活動から内容を一新した。従来の活動はテーマに添って、各正会員企業から担当者にお集まり頂き、討議・検討し方向性や運用の決定を行ってきたが、震災の影響がどこまで続くか、また余震はどうか等、期首において不透明な事項が多数あり、方向転換をして担当者を一同に招集して実施する会議を極力減らした。ただしそのままでは協会活動が遅延するため、事務局が動き調整する事で、本年度に決定した「活動テーマ」を実現する事にした。

この方法は非常に意見調整に時間がかかったが、事務局が意見を聞き他者の意見を伝えながらの1対1での意見収集のため、普段会員社が感じている事を「そのまま」意見として頂戴する事ができた。言い換えれば会議参加者が多ければ多いほど「決定事項は発言力の大きい」方に偏ると言うことである。昨年度は出来るだけ多くの会員社にご意見を頂きながらすすめ、事務局が各地を回り、会員社のご意見を広く集める事に注力した。この下地が今後のAPARA活動のベースになり、協会自体の結束につながると思う。

テーマ1、正会員と正会員をサポート頂く賛助会員社の入会を促進する

本年度は賛助会員の入会促進に務めた。募集時期は上期は7月、8月、9月、下期は12月、1月、2月に実施。現在会員募集は案内を配ってもご入会いただける状況ではないので、イベントショーなどの各種展示会での出展企業に対し、その場で名刺交換をして後日、情報交換をしながら入会促進へと進めた。

平成23年度ご入会頂いた企業

- ・株式会社 サンエスオプテック
- ・ルート産業 株式会社
- ・有限会社 ストリート
- ・株式会社 錦織
- ・株式会社 メルモ
- ・住鋁潤滑剤 株式会社
- ・トマトランド 株式会社
- ・日本ワイパブレード 株式会社

テーマ2、適時的確な情報提供を行う。

適時な情報提供は8月にホームページをリニューアルした事で遂行した。従来の情報発信方法は紙での発信が中心でした。その為月初に報道された情報など1ヶ月遅れる事がありました。今回ホームページのリニューアルにより、随時掲載する事ができ、適時情報共有が行える素地ができました。会員社（正会員、賛助会員）は企業ごとにログインIDとパスワードを発行していますので、ネット環境が整っていればいつでも閲覧可能となります。また資料はPDFで掲載していますの

で、スマートフォン利用者は移動中でも閲覧可能な環境となっております

テーマ3、各地で会員社との交流を深め、組織の結束力を高める。

APARA活動の強化にあたり、会員社との結束力は重要となります。また正会員募集に関しても今後はローカル店舗の入会が主となるため、各地でのイベントや交流を通じて交流を強化していきます。しかし結束を高めるイベントとして協

会が行うものには様々な制限が生じる為、レクリエーションなどの交流ではなく、各地の運輸支局、警察等とのコラボレーションにより、APARA会員店の地域での社会貢献を中心とした企画で、企業・団体の存在をアピールし、APARA加盟店の「安心・安全」をお客様にアピールすると共に、未加入企業の入会促進を図りたいと思います。その意味で、10月8日から3日間実施される「愛知県春日井警察署」管内で行われる「自動車盗難防止キャンペーン」などは有効であり、今後ご要望があれば積極的に検討していき

たいと思います。また従来から行っている「全国万引犯罪防止」活動は県警毎に活動をしており、その地域にあるGMS、SC、専門店の皆様と会合をもてる為、APARA会員店のPRには良い場でもあり、地域の警察とのつながりも深くなる為、引き続きこの活動を行っていきます。

春日井警察署
10月8日から、自動車盗難防止キャンペーン

9月30日まで、秋の味方の順に多くなっている。交通安全運動が行われ、春日井警察署では、秋は出掛ける機会が増え、白痴も早くなると、横断歩行者妨害を目的に取り締ります。

8月末現在、愛知県交通安全死亡者数は130人と東京に次いでワースト2位と深刻。春日井市でも人身交通事故が1386件(3人死亡)発生。小学校区別では勝川、松原をお願います。また、スマートフォンで音楽を聴いたり、携帯電話の使用もやめてください。一人ひとりが交通安全を守って交通事故を減らしていきましょう。

また、10月8日から3日間オートバックス春日井西店、イエローハット高蔵寺店、同春日井店で「自動車盗難防止キャンペーン」が行われます。店内では自動車盗難全国ロードショーの被害実態や防犯対策などをパネル展示。各種防犯機器を特別価格で提供します。この機会に防犯対策を考え、自己防衛をしましょう。

テーマ4、勉強会の実施

6月 ・資源エネルギー庁、節電シンポジウム開催

東日本大震災により夏場の電力供給量が制限された。これにより小口需要、電力契約100Vまたは200V契約をされている法人様向けの「今夏の節電対策のポイントとお願い」を受講した。

8月 ・コンバージョンEV（電気自動車）ガイドライン説明研修会

電気自動車普及協議会様のご協力で、東京大学大学院高工学系研究所の草加浩平特任教授を講師として招き、「コンバージョンEVガイドライン」の勉強会を開催した。

草加浩平特任教授は、講義の中でガイドラインを制定した背景を説明し、「EVは簡単に作れるという誤解が生じている。」と現在作られているコンバージョンEVの問題点を指摘されました。



受講生から「カー用品店でコンバージョンEVを扱うには、どのような資格・店舗設備・工具等、新に必要なものは何か」など、アフターマーケット業界の将来に向けての質問がされました。

・職場におけるメンタルヘルス研修

中央労働災害防止協会様のご協力により「職場におけるメンタルヘルス」研修を開催致した。講義は労災の発生状況などカー用品業界が全業種の発生状況と比較してどうか、またその中で自殺者の割合、うつ病になる傾向、うつ病と診断された社員の対応、部下・上司とのコミュニケーションのとり方など、事例を交えて説明が行われました。



・自動車整備業界の現状と課題

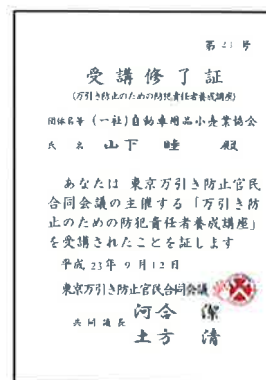


国土交通省関東運輸局様のご協力で「自動車整備業界の現状と課題」について国土交通省の現状の進め方を踏まえて講義を頂きました。整備事業者の増加と車両台数の減少、自動車使用年数の長期化など様々な環境の変化のなか、「環境整備」「人材育成」に注力する必要性を講義されました。

9月 ・万引防止の為の防犯責任者養成講座受講

東京都万引防止官民合同会議主催で「万引防止の為の防犯責任者養成講座」が開催された。第2回目を迎える今回は警視庁生活安全総務課長の青山彩子課長が挨拶をし、3時間の講義となった。

講義終了後には「理解度テスト」があり受講終了証が交付された。



11月 ・APARA下請法勉強会

中小企業庁より委託されている「財団法人 全国中小企業取引振興会」様に講師としてご協力を頂いた。下請法は私達の事業を運営する上で密接な法令であり、この機会に各企業様が「慣習として当たり前に行っている行為が法令ではどのようなのか」検証した。

テーマ5、環境への取り組み

環境問題の取り組みは企業経営にとって重要不可欠な事項となっている。そこで今期もAPARA加盟店から排出される産業廃棄物が適切に処理されているか、業者視察をおこなった。視察先は中部地区にある、廃オイル関連処理業者の㈱MOC、廃タイヤ処理業者の㈱セイノーマテリアル、廃バッテリー処理業者の戸松冶金㈱の3企業を視察した。今回の視察では廃バッテリーの処理などは初めてみる方もおり、各店舗から排出した使用済み商品がどのように処理をされ、リサイクルにまわってくるか、興味を持ちながら視察をする事ができた。またリサイクル処理には非常に多くの人の手がかかりシステム化できない事も体感することができた。

手間のかかる手順を踏んでの工程は適正な処理費が伴って出来る事につながるため、安易に処理費の「安い」で取引を始める事の危険性を含んでおり、取引業者での処理工程は、実際に見ておく必要がある。APARAでは視察にあたり、ポイントやチェックリストを作成し、それに基づき確認した。



APARA加盟企業の環境への取り組み

1. 環境への取組み(前文)

わたしたち車社会にかかわるものとして地球環境問題は大変重要なことと認識しております。少しでも環境に配慮するような事業をおこなうことで、次世代の子供たちのためにも環境保全に貢献していきたいと考えております。

+

2. 廃棄物とリサイクル

わたしたちの店舗からは、ピット(カー用品の取り付けや各種点検・整備を行うスペース)での交換作業後に廃タイヤ、廃オイル、廃バッテリーなどの廃棄物が発生します。

これら廃棄物がどのように処理されているかご存知でしょうか？

+

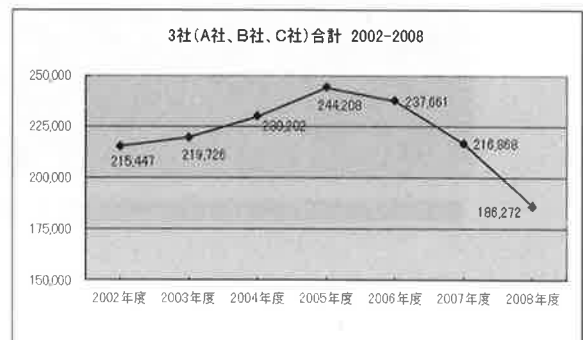
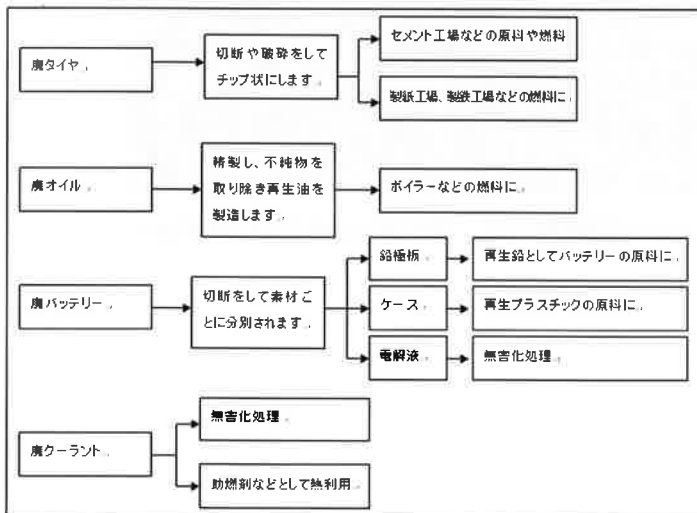
実は廃タイヤ、廃オイル、廃バッテリーはリサイクルという点ではとても優秀な廃棄物であり、いずれもリサイクル率が8割以上の廃棄物です。廃タイヤはセメント原料への用途も含めサーマルリカバリーとしてセメント工場や製紙工場、製鉄工場などで利用されています。

廃オイルは再生油として生まれ変わり、こちらも燃料として様々な工場で利用されます。

廃バッテリーは再生鉛、再生プラスチックとなり新たにバッテリーを製造するために利用されます。

+

※ 廃棄物の処理は専門の業者に委託しております。また、処理方法は地域や店舗によって異なる場合があります。



2002年度～2008年度レジ袋使用状況

【業界団体としての活動1】

交通安全啓発イベント

日本自動車会議所主催でおこなう「交通安全アクション2011」に今期も参加し、A PARAでは「交通安全約束手形」ブースを担当した。

5月14日、15日の両日、東京・江東区青海の複合アミューズメント施設「パレットタウン」内の「メガウェブ」で、体験型交通安全啓発イベント「交通安全。アクション2011」を開催し、大勢の家族連れやカップルなどで賑わった。東日本大震災から2カ月しか経っていないこともあり、来場者の出足が心配されたが、両日とも好天に恵まれたことに加え、これまでで最も多い39の協力団体・企業が参画してイベントを盛り上げた結果、来場者は2日間ではほぼ前年並みの約4,300人（主催者推計）に達し、盛況のうちに幕を閉じた。

「交通安全。アクション」は、例年、春の全国交通安全運動期間にあわせて開催しており、今回で11回目。開催テーマは「家族で広げよう交通安全」で、家族で一緒に考え、ともに体験し、家族の絆を深めながら交通安全の大切さやルールを楽しく学べるよう、多彩な体験型ブースを用意した。



できるだけ多くのブースの企画を体験してもらおうよう、スタンプラリーを今年も実施。スタンプを5個以上集めた参加者には、協力団体・企業のノベルティー・グッズなどさまざまな景品がプレゼントされるため、スタンプ用紙のチラシを手に一生懸命にブースを回る子供たちの歓声や笑い声があちこちから聞こえていた。会場では、▽警視庁の白バイ搭乗体験、▽ライディングシミュレーター、▽VICSドライブシミュレーター、▽子ども安全免許証、▽交通安全約束手形、▽自動車運転適性診断（ナスバネット）、▽“てんけんくん”ぬりえコーナー、▽交通安全トレーニングソフトウェア「おでかけばんだ」、▽首都高パトロール隊の搭乗体験、▽盲導犬ふれあい広場、▽俊敏性測定クイックアーム、▽心肺蘇生とAED体験、▽反射材体験、▽飲酒疑似体験ウォーキングゲームの14ブースに来場者の列ができ、親子やカップルが仲良く企画にチャレンジする姿が見られた。

【業界団体としての活動 2】

不正改造車を排除する運動に参加

国土交通省及び自動車関係33団体で構成する「不正改造防止推進協議会」に参加し、内閣府、警察庁、農林水産省、経済産業省及び環境省の後援並びに自動車検査独立行政法人、軽自動車検査協会の協力のもとに運動を実施する。「不正改造車を排除する運動」は、年間を通じた運動ですが、平成23年6月1日（水）から6月30日（木）までの1ヶ月間を「不正改造車排除強化月間」とし、特に重点をおいて運動を実施いたしました。加盟企業及び店舗にはポスターを配布し、啓発活動をおこなった

後席シートベルト着用推進運動に参加

日本自動車会議所では、本年度の交通安全事業の重点項目の一つに「後席シートベルト着用推進」を掲げており、交通事故根絶を目指した取り組みを行っている。後席シートベルトの着用は平成20年6月に義務化され、その着用率は徐々に向上してきているが、警察庁とJAF（日本自動車連盟）が毎年実施している「シートベルト着用状況全国調査」（平成22年10月実施）によると、後席の着用率は高速道路では63.7%と前年に比べて微増（前年比+0.3ポイント）となったものの、一般道では33.1%で前年より0.4ポイントの低下となっている。また、運転者（高速道路99.2%、一般道97.3%）や助手席同乗者（高速道路97.0%、一般道92.2%）に比べると非常に低いレベルにとどまっており、後席シートの安全に対する意識は、いまだ希薄であると言わざるを得ない状況にある。このため、「後席シートベルトの着用率向上」を図るためには、現場での更なる周知・啓発活動が必要であるとの認識から、APARA加盟店舗にはポスターを配布して、お客様に見える位置に掲示する事で啓発をおこなった。

自動車点検整備推進キャンペーンに参加

国土交通省、自動車関係30団体で構成する「自動車点検整備推進協議会」に参加。自動車は、国民の生活や経済の発展に必要不可欠なものであり、十分に定着した移動手段となっている。一方、大型車の車輪脱落事故や車両火災事故の防止を含む自動車の不具合による事故が発生している。環境面においても、排出ガスによる大気汚染や地球温暖化問題への対応が重要となっている。本来、自動車ユーザーには、自動車の不具合による事故の防止や環境保全を図ることを目的として、自動車の点検・整備の実施が義務付けられているが、その実施状況は十分ではない。以上のことから、「不正改造車を排除する運動」や「ディーゼルクリーン・キャンペーン」と連携を図りつつ、「自動車点検整備推進運動」を全国的に展開することにより、自動車ユーザーに適切な点検・整備の実施の必要性を理解してもらおうとともに、大型車のユーザーにあっては、ホイールの取付状態や燃料装置等について、より確実な点検整備の実施を求める。

平成23年度 会議体報告

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

1 理事会

第33回定時理事会開催

日 時 平成23年5月26日(木) 11:30～13:45

場 所 サンライズビル イベントホール 3F

議 題 下記事項の審議承認および報告・確認がなされた

1. 審議事項

- (1) 総会議案について
- (2) AAAAL海外視察について

2. 報告・確認事項

- (1) 第5回アフターマーケット活性化セミナーについて
- (2) 洗車の日報告事項
- (3) 本日の総会から懇親会までのスケジュール
- (4) AAAAL代表者会議の報告

第34回定時理事会開催

日 時 平成23年10月26日(水) 13:00～18:00

場 所 メルパルク東京 5階 華巖・瑞雲

議 題 下記事項の審議承認および報告・確認がなされた

1. 審議事項

- (1) APARA第5期にむけて
 - ①会議体の変更について
 - ②会員社の意見集約と会議参加費の負担軽減について
 - ③会長・副会長就任及びジュニアボードの役割について
 - ④正会員費の改定と賛助会員費の考え方について
 - ⑤AAAAL海外視察について

- (2) 理事の増員について
- (3) 理事の代行について
- (4) 第15回APARA定時総会について
- (5) 第4回洗車の日について

2. 報告・確認事項

- (1) 会員社の入退会状況について
- (2) 懇親会のスケジュールと役割について

- (3) 上期の収支報告について
- (4) ロビー展示物について
- (5) 次回開催日について

第35回定時理事会開催

日 時 平成24年3月8日(木) 13:00~16:00
場 所 APARA事務所
議 題 下記事項の審議承認および報告・確認がなされた

1. 審議事項

- (1) APARA第5期にむけて
 - ①活動テーマについて
 - ②会議体と会議スケジュールについて
 - ③予算について
 - ④役員の変更について
- (2) 第15回定時総会について
 - ①総会議題とスケジュール
 - ②総会時の応援依頼
 - ③総会時の展示物について

2. 報告・確認事項

- (1) 平成23年収支報告について
- (2) AAAL海外視察について
- (3) その他

2 総 会

第14回総会開催

日 時 平成23年5月26日(木) 14:00~18:30
場 所 サンライズビル イベントホール
議 題 (1) 決議事項

- | | |
|-------|----------------|
| 第1号議案 | 平成22年度事業報告について |
| 第2号議案 | 平成22年度収支報告について |
| 第3号議案 | 平成23年度事業報告について |
| 第4号議案 | 平成23年度予算について |
| 第5号議案 | 役員の変更について |

報告事項

(2) 講演会の実施

講師：黒田クロ

講演テーマ：『考え方が変われば人生が変わる。』

3 活動報告会

第16回活動報告会開催

日 時 平成23年10月26日(水) 15:45~18:00

場 所 メルパルク東京 5階 瑞雲

議 題 活動報告

- ・堀江会長より上期報告
- ・上期報告資料配布

4 各タスク活動報告 (平成23年4月~平成24年3月)

ジュニアボード

今期の方針:事業計画に基づき、協会活動の方向性と実施にあたり具体的な検討をおこなう。

	会社名	部 署・役 職	氏 名
メンバー	株式会社 イエローハット	取締役	清水 克多郎
メンバー	株式会社 オートアールズ	経営企画部グループマネージャー	鈴木 順一
メンバー	株式会社 オートボックスセブン	取締役 専務執行役員	森本 弘徳
メンバー	株式会社 ドライバースタンド	営業統括本部 本部長	黒柳 知宏
メンバー	ブリヂストンFVS 株式会社	FC チェーン運営部長	真鍋 利明
メンバー	株式会社 タクティー	取締役	杉山 正司

日 程	主な議題	出席者	会 場
2011/5/19 (木)	①将来の組織の在り方について ・今期のジュニアボードについて ・今期のタスクについて ・今期の研修について ・今後のAPARAについて ②今期の海外視察について	9名	APARA 事務局
2011/7/22 (金)	・10月の活動報告会について ・今期の活動から今後の活動について ・来期の役員について ・海外視察について ・自動車税について ・関東運輸局からの依頼について	7名	APARA 事務局
2011/9/9 (金)	・APARA活動について ・会員区分の見直しと会費の改定について	6名	APARA 事務局

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の是非と地域活動の活性化をどのように企画したら良いか ・APARA重要会議について ・AAAL洗車の日について ・10月の活動報告会について ・10月のイベントについて 		
2011/12/12 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会の報告 ・第4回洗車の日イベントについて 	6名	APARA 事務局
2012/2/8 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度活動テーマの検討 ・正会員募集について ・活動スケジュールについて ・第4回洗車の日について ・予算について ・反社会的活動への対応について ・高齢化社会に向けての取り組みの考え方について 	8名	APARA 事務局

コンプライアンスタスク

今期の方針:カー用品業界の永続的発展を目指す為に、狭義のコンプライアンス(法令遵守)にとらわれず、広義のコンプライアンス(社会の要望・要請に応える)を主眼に置いた活動を実践する。

	会社名	部 署・役 職	氏 名
メンバー	株式会社 イエローハット	メンテナンス用品 課長	小林 貴仁
メンバー	株式会社 オートアールズ	業務監査マネージャー	黒崎 浩和
メンバー	株式会社 オートボックスセブン	コンプライアンス部	高瀬 基充
メンバー	株式会社 タクティー	事業企画室	岡部 賢太
メンバー	株式会社 ドライバースタンド	経営企画室 室長	西上 源比佐
メンバー	ブリヂストンFVS 株式会社	FCチェーン事業企画課	山崎 隆

日 程	主な議題	出席者	会 場
2011/7/15 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・今期のタスクメンバー紹介 ・今期の活動計画及びスケジュールの検討 ・その他 	8名	APARA 事務局

ピット・安全タスク

今期の方針:安全で精度の高いピット作業を行うための手順や各社情報を共有する

	会社名	部 署・役 職	氏 名
メンバー	株式会社 イエローハット	ピットサービス推進部	清水 浩一
メンバー	株式会社 オートアールズ	車検事業部 マネージャー	清水 孝志
メンバー	株式会社 オートボックスセブン	サービス事業推進部	真本 芳治
メンバー	株式会社 ドライバースタンド	技術指導課 課長	森下 忠光
メンバー	ブリヂストンFVS 株式会社	カー用品メンテナンス・サービス課	安田 隆美
メンバー	株式会社 タクティー	ゾームス事業企画部	藤井 琢也

日 程	主な議題	出席者	会 場
2011/8/19 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車点検整備推進運動2011について ・整備事業災害発生について ・今期の整備事業について各社の情報交換 ・EV 勉強会について 	8名	APARA 事務局
2011/11/10 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)エーティーティ様による「低圧電気の教育プログラム」の紹介 ・ATF, ブレーキフルード等の交換作業について ・PIT作業時の災害防止について 	6名	APARA 事務局

環境タスク

今期の方針:省エネ法、温対法の勉強会を実施し、法改正に対応する。またエコに注力し、レジ袋削減や数字基準を作る。廃棄物処理業者の視察を行い、安全性の高い企業を研究する。

	会社名	部 署・役 職	氏 名
メンバー	株式会社 イエローハット	ピットサービス推進部 係長	林 健司
メンバー	株式会社 オートアールズ	店舗建設グループ	柳沢 和臣
メンバー	株式会社 オートボックスセブン	コンプライアンス部	田中 伸尚
メンバー	株式会社 タクティー	総務部 情報発信室	片岡 到
メンバー	株式会社 ドライバースタンド	運営統括本部 本部長	加藤 良朗
メンバー	ブリヂストンFVS 株式会社	FCチェーン運営部	大滝 英明

日 程	主な議題	出席者	会 場
2011/7/7 (木)	拡大環境タスク <ul style="list-style-type: none"> ・廃タイヤ処理方法の一部変更後についての意見交換 ・改訂版「廃棄物適正処理ガイドライン」配布の件 	13名	APARA 事務局

	・廃棄物処理委託工場の視察の件		
2011/9/14・15	産業廃棄物処理業者視察	7名	A P A R A 事務局

5 AAAL (オートアフターマーケット活性化連合)

代表者会議と事務局のみ、記載させていただきます。

第8回AAAL代表者会議開催

日 時 平成23年4月27日(水) 15:00~19:30
場 所 A P A R A 事務局
議 題

第一部

- ・2011年度AAAL代表選出
- ・AAAL委員会編成替えについて
- ・AAAL代表会議及び活動報告会の在り方について
- ・J M C A よりの負担軽減のお願い、および活動費について
- ・海外視察の件
- ・各団体からの連絡事項

第二部

第4期(前期)を振り返って

第9回AAAL代表者会議開催

日 時 平成23年11月21日(月) 16:00~20:00
場 所 A P A R A 事務局
議 題

第一部

- ・2012 洗車の日企画内容討議
- ・AAAL活動報告会実施について
- ・海外視察ツアーの報告
- ・各団体からの連絡事項

第二部

- ・懇親会

第10回AAAL代表者会議開催

日 時 平成24年3月30日（金） 18:00～20:30
場 所 アルカディア市ヶ谷
議 題

第一部

- ・AAAL平成24年度の活動方針および内容
- ・AAAL重要会議及び委員会について
- ・海外視察について
- ・各団体からの連絡事項

第二部

- ・懇親会

2011年度 第1回AAAL事務局会議開催

日 時 平成23年4月1日（金） 13:00～16:00
場 所 APARA事務局
議 題

- ・今期の活動について
- ・その他

2011年度 第2回AAAL事務局会議開催

日 時 平成23年6月24日（金） 15:00～17:00
場 所 APARA事務局
議 題

- ・2011年度AAAL委員会メンバー、会議スケジュールの調整
- ・チャイナオートサロン（CAS）AAAL視察ツアーの説明
- ・2011SEMAショー視察ツアー実施についての検討
- ・福島での復興支援イベントへの協力について
- ・その他

2011年度 第3回AAAL事務局会議開催

日 時 平成23年9月7日（金） 9:30～11:30
場 所 APARA事務局
議 題

- ・2011年度AAAL委員会メンバー、および委員会スケジュールの調整
- ・AAAL海外視察ツアーの状況報告
- ・10月開催予定のAAAL代表者会議について
- ・その他

6 関連省庁・団体会議等

業界団体会議	内 容
1)自動車関連 部品・用品連絡会	国土交通省、経済産業省と自動車関連 19 団体とのコミュニケーションの場で隔月開催。各団体の近況報告を主体に進められる、この場でAPARA活動を行政にPRしている。各団体の報告後に経済産業省、国土交通省よりの報告、(法改正の内容、昨今の事例、プレスリリース等の説明) 有意義な情報もある。
2)不正改造防止協議会 点検整備推進協議会	国土交通省関係で不正改造防止協議会、点検整備推進協議会に参画している。5 月に不正改造車防止ポスター配布、8 月に自動車点検整備推進運動ポスター・小冊子を配布。
3)自動車検査独立行政法人	自動車検査法人による店舗調査、今年は「車検対応」商品に目を当て商品のアイテム数、取り付け箇所および取り付け方法の説明POP等を中心に調査した。(11 月 4 日にオートボックス、イエローハット、ジェームスの 3 企業の店舗で実施) 店舗に対して、指摘事項といった問題点は特になかった。
4)日本自動車工業会	毎年春と秋の「全国交通安全運動」に時期を合わせてマスメディアを通じた、『自工会・交通安全キャンペーン』を展開している。
5)日本自動車会議所	自動車会議所ニュースを正会員社に毎月 APARA リポートと一緒に郵送。5 月 14・15 日に自動車会議所主催の交通安全アクション 2011 イベントに参加。APARA正会員社には自動車会議所ニュースを毎月配布。自動車税制改革フォーラムメンバーとして活動。四輪ドライバー・同乗者への「後席シートベルトの着用」の訴求ポスター(APARAロゴ入り)を制作し、正会員社全店舗にて掲出し、ドライバーの安全啓発を呼びかける。
6)全国万引防止協議会	店舗での万引防止についての情報共有と警察庁、警視庁、および各県警との官民合同会議を開催

【平成23年度スケジュール】

4月

4月1日	AAAL事務局会議
4月5日	会員社訪問・意見収集
4月6日	緑の緑化推進機構会議
4月6日	会員社訪問・意見収集
4月7日	会員社訪問・意見収集
4月8日	会員社訪問・意見収集
4月11日	洗車の日インタビュー
4月12日	IAAE事務局会議
4月12日	会員社訪問・意見収集
4月13日	交通安全アクション2011会議
4月13日	洗車の日インタビュー
4月14日	洗車の日インタビュー
4月18日、19日、20日	会員社訪問・意見収集
4月22日	APARA環境タスク分科会
4月26日	会員社訪問・意見収集
4月27日	電気自動車普及協議会会議
4月27日	AAAL代表者会議
4月28日	会員社訪問・意見収集

5月

5月9日	全国万引犯罪防止機構小委員会
5月11日	APARAジュニアボード
5月12日	日本自動車部品協会総会
5月12日	会員社訪問・意見収集
5月14日、15日	交通安全アクション2011イベント
5月17日	自動車税制改革フォーラム
5月18日	国土交通省会議
5月19日	APARAジュニアボード
5月23日	会員社訪問・意見収集
5月24日	日本自動車機械器具工業会総会
5月26日	APARA第33回定時理事会
5月26日	APARA第14回定時総会
5月31日	首都高速サービス推進協会会議

6月

6月3日	全国自動車部品商団体連合会総会
6月6日	AAAL夏スペシャル2011会議
6月6日	資源エネルギー庁 節電シンポジウム
6月7日	全国自動車部品販売店連合会総会

6月8日	電気自動車普及協議会会議
6月9日	日本自動車会議所総会
6月10日	中央労働災害防止協会会議
6月13日	日本EAS機器協議会総会
6月14日	自動車部品用品連絡会
6月17日	アフターマーケット活性化セミナー
6月17日	チャイナオートサロン出展説明会
6月20日	全国万引犯罪防止機構理事会・総会
6月22日	中央労働災害防止協会会議
6月23日	AAAAL夏スペシャル2011撮影
6月30日	会員社訪問・意見収集
7月	
7月4日	東京万引防止官民合同会議
7月6日	警視庁2輪事故防止会議
7月7日	APARA環境タスク
7月7日	会員社訪問・意見収集
7月8日	関東運輸局会議
7月11日	中央労働災害防止協会会議
7月11日	会員社訪問・意見収集
7月12日	全国万引犯罪防止機構小委員会
7月13日	自動車点検整備推進協議会
7月15日	APARAコンプライアンスタスク
7月15日	会員社訪問・意見収集
7月19日	自動車税制改革フォーラム
7月22日	日刊自動車新聞社2011用品大賞表彰式
7月25日	自動車会議所研修会
7月29日	東京都万引防止サマーキャンペーン
8月	
8月2日	店舗視察
8月2日	販促物関連製作会社工場見学
8月19日	APARAピット安全タスク
8月23日	コンバージョンEV（電気自動車）研修会
8月24日	職場におけるメンタルヘルス勉強会
9月	
9月1日	全国中小企業中央会会議
9月5日	愛知県万引防止対策協議会
9月7日	AAAAL事務局会議
9月8日	全国中小企業取引振興会会議
9月9日	APARAジュニアボード
9月12日	東京万引防止担当者養成講座

9月13日	自動車検査独立行政法人会議
9月13日	全国万引犯罪防止機構小委員会
9月14日、15日	APARA環境タスク産業廃棄物処理業者工場視察
9月20日	会員社訪問・意見収集
9月30日	電池工業会会議
9月30日	AAAL活性化委員会
10月	
10月5日～9日	AAALチャイナオートサロンツアー
10月11日	部用品連絡会
10月17日、18日	会員社訪問、意見収集
10月19日	公正取引協議会 業種別講習会
10月26日	APARA理事会・中間報告会
10月29日	関東運輸局 点検整備運動2011
11月	
11月4日	全国万引犯罪防止機構
11月4日	APARA検査法人による店舗立会調査
11月10日	APARAピット安全タスク
11月15日	AAAL活性化委員会
11月18日	APARA下請法勉強会
11月21日	AAAL代表者会議
11月22日	全国万引犯罪防止機構
11月23日	会員社訪問、意見収集
12月	
12月7日	小売業8団体と中災防との安全健康懇談会
12月8日、9日	会員社訪問、意見収集
12月12日	APARAジュニアボード
12月13日	部用品連絡会
12月13日	IAAE運営委員会
12月13日	会員社訪問、意見収集
12月14日	国交省訪問
1月	
1月25日	カーたび機構事務局連絡
1月31日	自動車税制改革フォーラム
1月31日	全国万引犯罪防止機構 理事会
1月31日	洗車の日取材
2月	
2月1日	洗車の日取材
2月3日	IAAE運営委員会
2月3日	愛知県警 万引防止委員会
2月6日	洗車の日取材

2月7日	洗車の日取材
2月7日	不正改造防止推進協議会
2月8日	第51回ジュニアボード
2月13日	I A A E運営委員会
2月14日	自動車用バッテリーリサイクル新自主スキーム 概要説明会
2月14日	自動車部品・用品連絡会
2月17日	洗車の日取材
2月20日	洗車の日取材
2月22日	カーたび機構 幹事会
2月24日	中央労働災害防止協会セミナー
2月27日	自動車検査独立行政法人 会議
2月27日	交通安全アクション2012 説明会
2月28日	洗車の日取材
3月	
3月5日	I A A E運営委員会
3月8日	A P A R A理事会
3月16日	知的財産権意見交換会
3月26日	自動車点検整備推進協議会
3月27日	洗車の日取材
3月30日	洗車の日取材
3月30日	A A A L代表者会議

平成23年度役員について

役員一覧

- 会 長 : 堀 江 康 生
(株式会社イエローハット代表取締役社長)
- 最高顧問 : 住 野 公 一
(株式会社オートバックスセブン相談役)
- 副会長 : 安 永 豊 彦
(ブリヂストン FVS 株式会社代表取締役社長)
- 副会長 : 石 渡 淳
(株式会社ドライバーズスタンド代表取締役社長)
- 理 事 : 鶴 田 誠 一
(株式会社タクティー代表取締役社長)
- 理 事 : 森 田 映 一
(株式会社モンテカルロ代表取締役社長)
- 理 事 : 加 藤 光 男
(株式会社クラフト代表取締役)
- 理 事 : 西 山 浩 一 郎
(株式会社ヨコハマタイヤジャパン取締役販売促進部長)
- 理 事 : 橋 口 高 志
(住友ゴム工業株式会社ダンロップ タイヤ営業本部消費財部長)
- 理 事 : 渡 壁 一 信
(株式会社トーヨータイヤジャパン営業本部消費財販売部部長)
- 監 事 : 遠 藤 文 樹
(株式会社フジ・コーポレーション代表取締役社長)

平成23年会員の増減について

平成23年度 入退会 企業一覧

正会員	
入会	なし
退会	有限会社 ロードスター山陰境港店
	株式会社 モンテカルロ
	株式会社 ドライバースタンド

賛助会員	
入会	株式会社 サンエスオプテック
	ルート産業 株式会社
	有限会社 ストリート
	株式会社 錦織
	株式会社 メルモ
	住鋳潤滑剤 株式会社
	トマトランド 株式会社
	日本ワイパブレード 株式会社
退会	三洋電機 コンシューマエレクトロニクス 株式会社
	S&Eブレーキ 株式会社
	株式会社 クジ精機製作所

平成23年3月31日会員数

正会員数 20社

賛助会員数 110社

平成24年3月31日会員数

正会員数 17社

賛助会員数 115社

平成23年決算書について

(損益計算書・貸借対照表)

平成23年度収支報告

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

科目	当期予算額	当期実績	当期予実差額	備考
I 収入の部				
会費収入(正会員)	15,626,000	15,448,000	-178,000	2企業退会の為
会費収入(FC会員)			0	
会費収入(賛助会員)	12,000,000	12,000,000	0	
その他収入			0	
受取利息	9,000	3,600	-5,400	
自販機	11,320,000	16,354,388	5,034,388	58台設置
PIT機器		196,000	196,000	
当期収入合計(A)	38,955,000	44,001,988	5,046,988	
II 支出の部			0	
外注加工費	3,300,000	5,242,773	1,942,773	洗車の日販促物持出の為
荷造運賃	600,000	261,985	-338,015	
会議費	4,140,000	3,813,612	-326,388	
旅費交通費	1,150,000	870,490	-279,510	
諸会費	317,000	220,000	-97,000	
保険料	10,000	6,250	-3,750	
支払報酬料	500,000	1,167,083	667,083	HP追加修正30万
雑費	60,000	54,600	-5,400	
交際費	240,000	245,315	5,315	
広告宣伝費	1,500,000	1,920,140	420,140	一般新聞広告20万
自販機設置手数料	8,080,000	12,494,183	4,414,183	
支払手数料		63,000	63,000	
研修	1,000,000	875,323	-124,677	
事業費計(B)	20,897,000	27,234,754	6,337,754	
給料手当	5,400,000	5,250,000	-150,000	
福利厚生費	30,000	42,935	12,935	
広告宣伝費	150,000	360,000	210,000	交通毎日新聞20万
交際費		36,560	36,560	
会議費	120,000	72,759	-47,241	
旅費交通費	600,000	678,895	78,895	
通信費	780,000	889,395	109,395	
備品消耗品費	756,000	613,320	-142,680	
水道光熱費	420,000	441,082	21,082	
新聞図書費	240,000	206,558	-33,442	
支払手数料	230,000	110,613	-119,387	
地代家賃	4,080,000	4,000,000	-80,000	
リース料	17,556	17,556	0	
租税公課	12,000	81,500	69,500	
支払報酬料	583,250	613,750	30,500	
寄付金	350,000	409,588	59,588	
雑費	120,000	467,228	347,228	洗車の日販促物40万
派遣費用	2,760,000	2,826,562	66,562	
器具備品		65,100	65,100	
研修費			0	
予備費	1,409,194		-1,409,194	
管理費計(C)	18,058,000	17,183,401	-874,599	
当期支出合計(D)	38,955,000	44,418,155		
当期収支差額(A)-(D)	0	-416,167		

平成23年度貸借対照表

(単位:円)

科 目	前年度	当年度	増 減
I 資産の部			
現金・預金			
現金	205,217	223,823	18,606
普通預金	16,217,813	8,223,529	-7,994,284
現金・預金計	16,423,030	8,447,352	-7,975,678
貯蔵品	3,080	3,200	120
前払費用	525,000	3,386,418	2,861,418
未収入金	5,690,674	10,165,094	4,474,420
敷金	1,731,432	1,731,432	0
資産合計	24,373,216	23,733,496	-639,720
II 負債の部			
未払金	3,851,625	3,328,572	-523,053
預り金	10,000	9,500	-500
仮受金	0	300,000	300,000
負債合計	3,861,625	3,638,072	-223,553
III 純資産			
繰越利益	20,511,591	20,529,591	18,000
当期純損益		-434,167	-434,167
純資産合計	20,511,591	20,095,424	-416,167
負債・純資産合計	24,373,216	23,733,496	-639,720

